

科目名 「 歯科予防処置論Ⅳ 」

学年	学期	科目責任者
2	後学期	門脇 明美
科目ナンバリング	C-8-⑦-I-18	
単位数	2	
学修目標 (GIO)	予防管理室における患者メンテナンスの手順、必要書類など臨床実習に即した実習を通じ、歯周基本治療の流れをする。歯・口腔の状況に応じた歯科予防処置の知識、技術をする。技術ののみにとどまらず、実践するために思考し、問題を解決できる力も身につける。	
担当教員	*門脇 明美, *和田 由紀子*中澤 広美, *鷹巣 美香	
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」第2版 全国歯科衛生士教育協議会編集 医歯薬出版(株) 歯科衛生士教本「歯科衛生士のための齲蝕予防処置法」第2版 全国歯科衛生士教育協議会編集 医歯薬出版(株) プリント配布	
参考図書	新歯科衛生士教本「歯科予防処置」 全国歯科衛生士教育協議会編集 医歯薬出版(株)	
評価方法 (EV)	実習評価：40% (課題提出), 平常試験：60%で総合的に判断する。 ただし、最終評価が60点の達しない場合には、追再試験期間に全範囲における再試験を行う。	
学生へのメッセージ オフィスアワー	歯科衛生士の実務経験を活かし、歯科衛生士業務の一つである歯科予防処置論について説明する。臨床実習において歯科予防処置での確実な操作と技術の向上をするために、必ず復習と日々の訓練を忘れずに行ってください。	

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 10/11	フッ化物局所応用法 ・ う蝕活動性試験	<p>【授業の一般目標】 フッ化物局所応用ができるようになるための知識、技能、態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 1. フッ化物歯面塗布法、トレー法の取り扱いができる。 2. フッ化物歯面塗布法の綿球塗布法・トレー法・塗布後の説明ができる。 3. う蝕活動性試験の条件を説明できる。 4. う蝕活動性試験の検体と評価項目を説明できる。 5. う蝕活動性試験を実施できる。</p> <p>【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、予習内容： 1年次配布プリント、フッ化物局所応用について復習しておくこと。 復習時間：60分、復習内容： 実習内容を確認し、実習記録用紙に記載すること。</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p>	*門脇 *和田 *中澤 *鷹巣
第2回 10/18	う蝕活動性試験 メンテナンス	<p>【授業の一般目標】 う蝕活動性試験ができるようになるための知識、技能、態度を修得する。 歯周病におけるメンテナンスの意義を理解できるように知識、技能、態度を修得する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 1. う蝕活動性試験結果を基に齲蝕予防プログラムを立案できる。 2. メンテナンス時の評価項目と方法、処置について説明できる。 3. SPTの目的を説明できる。 4. SPTの処置内容を説明できる。</p> <p>【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、予習内容： う蝕活動性試験について復習しておくこと。 復習時間：60分、復習内容： 講義内容を確認すること。</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義・実習</p>	*門脇

<p>第3回 10/25 第4回 11/1</p>	<p>補助者との共同 動作について</p>	<p>【授業の一般目標】 臨床実習における患者診療での補助者の役割を果たすことができるようになるための知識、技能、態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 術者：超音波スケーラーを適切に使用することができる。 補助者：患者に配慮しバキュームテクニック等アシスタントワークを適切に行うことができる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：超音波スケーラーの使用方法を確認しておくこと。 復習時間：60分、復習内容：実習内容を確認し、実習記録用紙に記載すること。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 実習</p>	<p>*門脇 *和田 *中澤 *鷹巣</p>
<p>第5回 11/8 第6回 11/15</p>	<p>患者診療の 進め方 [想定：初診]</p>	<p>【授業の一般目標】 予防管理室での初診から終了までの流れを想定し、患者診療ができるようになるために必要な知識、技能、態度を修得する 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 術者：歯周初期治療ができるようになるための知識、技能、態度を修得する。 補助者：患者に配慮し、診療補助を行うことができる。 患者：術者に診療を評価し、患者の気持ちを感じることができる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分、予習内容： 予防管理室の流れを確認しておくこと。 マネキンでスケーラー操作の確認をすること。 復習時間：60分、復習内容： 実習を振り返り、歯科衛生過程を完成させること。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 実習</p>	<p>*門脇 *和田 *中澤 *鷹巣</p>
<p>第7回 11/22 第8回 11/29</p>	<p>患者診療の 進め方 [想定：再診 1回目]</p>	<p>【授業の一般目標】 予防管理室での初診から終了までの流れを想定し、患者診療ができるようになるために必要な知識、技能、態度を修得する 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 術者：歯周初期治療ができるようになるための知識、技能、態度を修得する。 補助者：患者に配慮し、診療補助を行うことができる。 患者：術者に診療を評価し、患者の気持ちを感じることができる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、予習内容： 予防管理室の流れを確認しておくこと。 マネキンでスケーラー操作の確認をすること。 復習時間：60分、復習内容： 実習を振り返り、実習記録用紙に記載し、マネキン操作の確認をすること。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 実習</p>	<p>*門脇 *和田 *中澤 *鷹巣</p>

<p>第9回 12/6 第10回 12/13</p>	<p>患者診療の 進め方 [想定：再診 2回目]</p>	<p>「臨床経験に基づき以下の内容を教授する」 【授業の一般目標】 予防管理室での初診から終了までの流れを想定し、患者診療ができるようになるために必要な知識、技能、態度を修得する 【行動目標（SB0s）】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 術者：歯周初期治療ができるようになるための知識、技能、態度を修得する。拡大鏡の使用方法を理解する。 補助者：患者に配慮し、診療補助を行うことができる。 患者：術者に診療を評価し、患者の気持ちを感じることができる。 【準備学修項目】 予習時間：60分、予習内容： 予防管理室の流れを確認しておくこと。 マネキンにてスケーラー操作の確認をしておくこと。 復習時間：60分、復習内容： 拡大鏡の使用方法を確認すること。 実習を振り返り、実習記録用紙に記載すること。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略（LS）】 実習</p>	<p>*門脇 *和田 *中澤 *鷹巣</p>
<p>第11回 12/20 第12回 12/27</p>	<p>患者診療の 進め方 [想定：検査 2回目]</p>	<p>【授業の一般目標】 予防管理室での初診から終了までの流れを想定し、患者診療ができるようになるために必要な知識、技能、態度を修得する 【行動目標（SB0s）】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 術者：歯周初期治療ができるようになるための知識、技能、態度を修得する。 補助者：患者に配慮し、診療補助を行うことができる。 患者：術者に診療を評価し、患者の気持ちを感じることができる。 【準備学修項目・時間】 予習内容：60分 予防管理室の流れを確認しておくこと。 マネキンでスケーラー操作の確認をすること。 復習内容：60分 実習を振り返り、マネキンでの操作を確認すること。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略（LS）】 実習</p>	<p>*門脇 *和田 *中澤 *鷹巣</p>
<p>第13回 1/17 第14回 1/24</p>	<p>患者診療の 進め方 [想定：終了]</p>	<p>【授業の一般目標】 予防管理室での初診から終了までの流れを想定し、患者診療ができるようになるために必要な知識、技能、態度を修得する 【行動目標（SB0s）】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 術者：歯周初期治療ができるようになるための知識、技能、態度を修得する。 補助者：患者に配慮し、診療補助を行うことができる。 患者：術者に診療を評価し、患者の気持ちを感じることができる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、予習内容： 予防管理室の流れを確認しておくこと。 復習時間：60分、復習内容： 実習を振り返り、マネキンでスケーラー操作の確認し、実習記録用紙に記載すること。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略（LS）】 実習</p>	<p>*門脇 *和田 *中澤 *鷹巣</p>
<p>第15回 1/31</p>	<p>平常試験 および 解説講義</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科予防処置論を理解するための知識を修得する。 【行動目標（SB0s）】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 歯科予防処置の基礎知識、歯周病予防処置法、う蝕予防処置法を説明できる。 【準備学修項目】 歯科予防処置論での学修内容を復習しておくこと。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略（LS）】 記述試験および講義</p>	<p>*門脇</p>